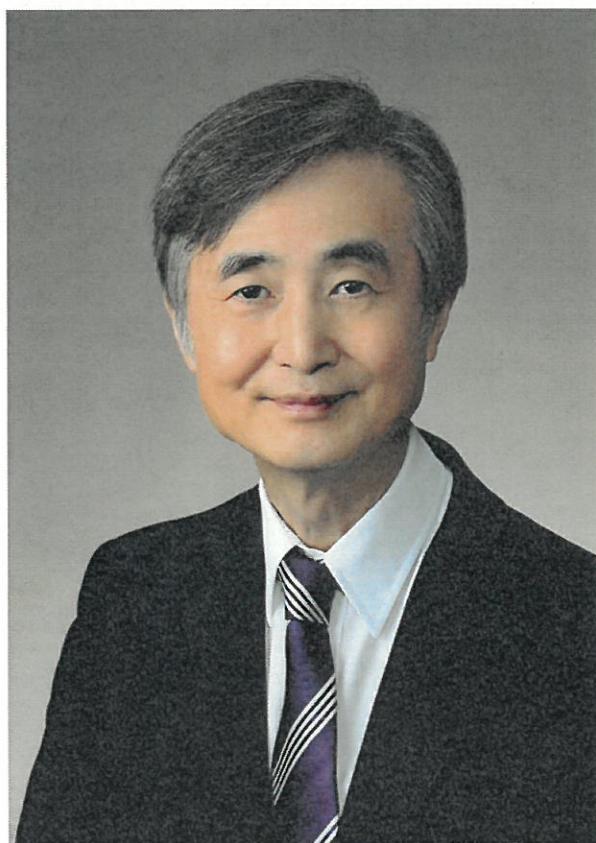


第75回岡山県文化賞受賞者



井上 敬依子 氏 <古典洋舞>



伊達 勲 氏 <医学>

第 75 回岡山県文化賞（芸術：古典洋舞）

井上 敬依子（本名：井上 敬子）

昭和 11 年生（87 歳）※年齢は令和 5 年 8 月 16 日現在
岡山市北区表町

略 歴

- 昭和 34 年 バレエスタジオ設立 第 1 回スタジオ自主公演開催
- 〃 60 年 岡山バレエ協会設立 副会長就任
- 〃 63 年 岡山市 100 周年「市民の祭典」振付助手
- 平成 2 年 岡山県代表として国民文化祭（愛媛）参加（以降鳥取、山口、徳島、静岡等）
- 〃 7 年 岡山バレエカンパニー設立 会長就任
- 〃 10 年 山陽学園短期大学教授（～平成 15 年）
- 〃 12 年 後楽園世紀カウントダウン振付、参加
- 〃 13 年 日仏交流トウルバレエ公演共催（振付、演出、出演）
- 〃 15 年 日韓交流姉妹都市（岡山市、富川市）バレエ公演参加
- 〃 17 年 岡山県バレエ連盟会長就任（～現在に至る）
第 60 回国体晴れの国おかやま大会開会式「丹頂鶴の舞」演出
- 〃 20 年 バレエスタジオ 50 周年記念公演開催
- 〃 22 年 第 25 回国国民文化祭あつ晴れおかやま洋舞フェスティバル演出、出演
- 令和 4 年 現代舞踊連盟創立 20 周年記念ダンスパフォーマンス 2022 参加

受賞歴

- 平成元年 岡山市文化奨励賞
- 〃 9 年 岡山県芸術祭賞
- 〃 12 年 第 1 回岡山芸術文化賞準グランプリ 井上敬依子バレエスタジオ
- 〃 17 年 「晴れの国おかやま国体」「輝いて！おかやま大会」感謝状
- 〃 22 年 第 11 回福武文化賞

業 績

6 歳よりバレエを始め、東京スターダンサーズバレエ団に所属後、昭和 34 年に岡山にスタジオを設立した。以来、87 歳の現在に至るまで、自主公演活動、作品制作等に精力的に取り組んでいる。作品の制作においては、洋楽のみならず太鼓や鼓、琴などの邦楽音楽とのコラボにより、これまでにない斬新な取り組みに挑戦しつつ独自の世界観を創り上げるなど、長きにわたり岡山県の洋舞界を牽引してきた。

また、岡山県バレエ連盟会長として、岡山県内の文化活動への取り組みや国内外への岡山の文化の発信、後進への指導等にも取り組んでいる。

こうした長年の取り組みとその成果は、本県文化の振興に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

第 75 回岡山県文化賞（学術：医学）

だて いさお
伊達 勲

昭和 32 年生（66 歳）※年齢は令和 5 年 8 月 16 日現在

岡山市北区北方

略 歴

- 昭和 57 年 岡山大学医学部卒業
岡山大学医学部脳神経外科入局
- 〃 63 年 米国ニューヨーク州ロチェスター大学留学（～平成 2 年）
- 平成 2 年 医学博士
- 〃 14 年 岡山県ライシャワー杯スピーチコンテスト審査員（～平成 28 年）
- 〃 15 年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経外科教授（～令和 5 年）
日本脳神経外科学会理事（～現在に至る）
日本脳神経外科同時通訳団団長（～令和元年）
- 〃 23 年 岡山大学病院副病院長（～令和元年）
- 〃 26 年 日本医学英語教育学会理事長（～現在に至る）
- 令和元年 岡山大学医学部医学科長（～令和 3 年）
- 〃 2 年 日本脳神経外科学会第 79 回学術総会会長
- 〃 3 年 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科長（～令和 5 年）
- 〃 5 年 岡山労災病院院長（～現在に至る）

受賞歴

- 昭和 47 年 岡山県ライシャワー杯スピーチコンテスト優勝
- 平成 6 年 日本脳神経外科学会ガレーヌス賞
- 〃 8 年 岡山医学会賞新見賞
- 〃 10 年 岡山医学会賞結城賞
- 令和元年 日本脳神経外科学会齋藤眞賞

業 績

平成 15 年より岡山大学医学部脳神経外科の教授を務め、脳動脈瘤や脳腫瘍などの患者の治療に取り組んできた。手術の成績向上のため、新しい手術方法や手術機器を積極的に採用するとともに、遺伝子治療や再生医療など先端医療の研究を進め、脳神経外科学の発展に大きく貢献した。

また、グローバル人材を育てるために、日本医学英語教育学会理事長として医学英語教育に尽力するとともに、地元岡山県の中学生の英語能力の向上を目指し、（一財）岡山日米文化協会が主催する岡山県ライシャワー杯スピーチコンテストの審査に当たるなど、本県のみならず日本の学術・医療及び教育に大きく寄与している。

こうした長年の研究とその成果は、本県学術の向上に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。